

動物実験に関する検証結果報告書

国立大学法人宮崎大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2022年3月

2022年3月7日

国立大学法人宮崎大学
学長 鮫島 浩 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：国立大学法人宮崎大学
申請年月日：2021年7月28日
訪問調査年月日：2021年11月30日
調査員：下田耕治、瀬戸山健太郎、田中聖一、鳥越大輔

検証の総評

宮崎大学は2003年に旧宮崎大学と旧宮崎医科大学が統合し設置され、5学部、1別科、7大学院研究科（教育学、看護学、工学、農学、医学獣医学総合、農学工学総合、地域資源創成学）を有する総合大学である。動物実験は主に木花キャンパス（農学部等）及び清武キャンパス（医学部）で実施されている。

全学規程である「宮崎大学動物実験規則（以下「動物実験規則」という。）」の下、全学の動物実験委員会及び各キャンパスの小委員会が設置され、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開など、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則した動物実験が適正に実施されている。また、飼養保管施設数は多く、飼養する動物種も多岐にわたるが、各施設には実験動物管理者が置かれ、飼養保管マニュアル類が整備され、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則して適切に管理されている。教育訓練に関しては、動物実験実施者に加え、学部教育や大学院教育の中で実験動物学に関連する講義や実習を正規カリキュラムとして組み込んでいる点は高く評価できる。

一方、施設面では更新計画に従い順次改修工事が進められている反面、周辺環境へ配慮した飼育環境の整備を要する箇所が見られるので、さらなる維持管理計画の策定を早急に検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験規則」「宮崎大学動物実験委員会規程（以下「委員会規程」という。）」及び「宮崎大学動物実験に関する木花キャンパス小委員会及び清武キャンパス小委員会細則（以下「小委員会細則」という。）」が定められ、その内容は基本指針及び飼養保管基準に則したものである。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験規則」及び「委員会規程」に基づき、10名の委員で構成する全学の動物実験委員会が設置され、木花及び清武キャンパスには「小委員会細則」に基づく小委員会が置かれている。それぞれの委員会は基本指針で規定される3種のカテゴリーの委員を含んでいる。動物実験計画等は小委員会による審議の後、動物実験委員会委員長を経て、学長に報告している。小委員会に共通委員を置き、情報共有も図られている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果

<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見 「委員会規程」や「小委員会規則」における委員構成について、より実態に即した記述内容とすることを検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験規則」に基づき、「動物実験計画書」「動物実験経過報告書・終了届」「誓約書」「実験動物系統維持・繁殖報告書」「畜産農家等、学外施設での動物を対象とした試験研究計画の届出書」等が定められ、基本指針に則した動物実験実施体制が整備されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「宮崎大学病原体等安全管理規程」「宮崎大学毒物及び劇物管理規程」「宮崎大学放射線安全管理規程」「宮崎大学遺伝子組換え生物等の使用等に関する安全管理規程」等が定められ、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が整備されている。動物実験委員会とそれぞれの委員会では

共通の委員を置くなど、情報共有や相互連携が図られている。その他、関連法規を遵守している。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「動物実験規則」に基づき、「飼養保管施設設置承認申請書」「飼養保管施設の運用についての自己点検・評価報告書」等が定められている。各飼養保管施設では標準操作マニュアルが定められ、実験動物管理者が置かれている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

宮崎大学は 2011 年度に「動物実験の相互検証プログラム」に基づく外部検証を受けており、今回、「第 2 期外部検証プログラム」に基づく 2 度目の外部検証である。前回の外部検証時に指摘された事項が改善されている点は、高く評価できる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2020 年度、動物実験委員会は年 2 回開催され、主に自己点検・評価、情報公開について審議している。木花キャンパス小委員会は 11 回、清武キャンパス小委員会は 14 回開催され、動物実験計画書等を審査し、動物実験委員会委員長を経て学長に報告している。それぞれの委員会の議事録等も適正に保存されている。また、両小委員会での情報共有もなされている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2020 年度、動物実験計画が 320 件申請され、306 件が承認され、14 件が取り下げられている。「動物実験経過報告書・終了届」及び自己点検票の提出率は 100% である。維持繁殖のみの実験動物は、「実験動物系統維持・繁殖報告書」によって把握され、学外における研究は「畜産農家等、学外施設での動物を対象とした試験研究計画の届出書」によって確認されている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理に注意を要する動物実験は、法令及び大学の諸規程に則して安全に実施されている。動物実験委員会による現地調査の際に、安全設備の整備状況を確認している。動物実験委員会委員の一部がそれぞれの安全管理委員会の委員として参画し、必要な情報共有がなされている。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

4) 改善に向けた意見

安全管理に注意を要する動物の飼育室について、表示等の再確認を検討されたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管する動物種はげっ歯類、産業動物から野生動物と多岐にわたるが、10か所の飼養保管施設では実験動物管理者のもとで標準操作マニュアルに従い適正に飼養保管している。中核的な飼養保管施設では、全学の微生物モニタリング検査検体を受け入れ、検査する体制が整備されている。「実験動物飼養保管状況の自己点検票」も100%提出されている。農学部では学生教育の一環として、学生が作業を分担実施し、マニュアルによる指導も行われている。よって、実験動物

の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管のための標準操作マニュアルは適正と判断されるが、施設により内容に濃淡が見られるので、研究者や学生が飼養保管作業を実質的に担当する施設では、より具体的かつ詳細な内容を盛り込むよう検討されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は設置申請時に、各キャンパス小委員会が現地調査を行い、適正性を確認後承認している。毎年、施設の写真等を添付した書面による飼養保管施設の現状調査（報告）を実施している。また、現在、農学部では改修計画に従って順次改修工事を進め、改善を図っている。一方、改修計画に含まれていない中大動物施設の一部は、動物福祉及び周辺環境へ配慮した飼育環境の整備を要する箇所が見られる。よって、施設等の維持管理の状況について、「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

中大動物施設についても維持管理計画を作成し、施設設備の改善や人員配置も含めた管理体制の見直しを検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験規則」に従い 2020 年度には 170 名の動物実験実施者や飼養者が教育訓練を受講している。受講後の有効期限は設けていないが、最新情報を教育するための講習会を適宜開催している。すべての実験従事者は受講済みであり、教育訓練の内容も適正である。実験動物管理者の教育は実験動物学会主催の講演会や実験動物管理者等研修会で対応している。また、学部教育や大学院教育の中で実験動物学に関連する講義や実習を正規カリキュラムとして組み込んでいる点は高く評価できる。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>「動物実験規則」の教育訓練の項（第 25 条）に人獣共通感染症に関する事項を追記されたい。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>毎年、動物実験委員会が主体となり自己点検・評価を実施し、必要な情報を HP 上で公開している。公開項目も適正であり、前回の検証結果報告書も公開している。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験委員会については、委員に関する情報を適宜わかりやすく記載するとともに、委員が変更される場合があるので当該年度の実績の項に公開することを検討されたい。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし。